

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年7月4日(2024.7.4)

【国際公開番号】WO2023/062982  
 【出願番号】特願2023-555010(P2023-555010)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/088(2006.01)

A 6 1 M 25/06(2006.01)

【FI】

A 6 1 M 25/088

A 6 1 M 25/06 5 5 6

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月11日(2024.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ガイドカテーテル用の延長ガイドカテーテルであって、  
 長手軸方向に延在する内腔を有し、近位側開口と遠位側開口を有する筒状体と、  
 前記筒状体に固定されており、前記筒状体の近位側開口より近位側に延在する線状部材とを有し、

前記筒状体は、径方向に対して、前記線状部材が固定されている上側と、その反対側の下側を有し、

前記筒状体の長手軸方向と上下方向から形成される平面視で、前記近位側開口の外縁は、少なくとも前記筒状体の上側1/3から下側1/2の間の領域で、上側から下側に向かって遠位側に傾斜して延びる第1区間と、前記第1区間よりも遠位側に位置し、前記近位側開口の遠位端を含む第2区間を有し、

30

前記第1区間は特定傾斜部を有し、前記第2区間が、前記特定傾斜部における前記外縁の接線よりも上側に形成されており、

前記第2区間において、前記近位側開口の外縁は、遠位側に向かって上側に延びる部分が存在せず、かつ、長手軸方向に平行に延びる部分が存在しないか、長手軸方向に平行に延びる部分の長手軸方向の長さが前記第2区間の長手軸方向の長さの1/2以下となるように長手軸方向に平行に延びる部分が存在する延長ガイドカテーテル。

【請求項2】

前記特定傾斜部は直線状に形成され、前記接線は、直線状に形成された前記特定傾斜部の延長線である請求項1に記載の延長ガイドカテーテル。

40

【請求項3】

前記第1区間において、前記近位側開口の外縁は、少なくとも前記筒状体の上側1/3から下側1/3の間の領域で、上側から下側に向かって遠位側に傾斜して延びるように形成されている請求項1に記載の延長ガイドカテーテル。

【請求項4】

前記第2区間は、前記筒状体の下側1/3の領域のみに形成されている請求項1に記載の延長ガイドカテーテル。

【請求項5】

前記筒状体を下側から見たときの前記第2区間における前記近位側開口の幅は、前記筒

50

状体の外径の 0.05 倍以上 0.9 倍以下である請求項 1 に記載の延長ガイドカテーテル。

【請求項 6】

前記第 2 区間の長さは、前記筒状体の外径の 0.3 倍以上 1.0 倍以下である請求項 1 に記載の延長ガイドカテーテル。

【請求項 7】

前記線状部材の遠位端は、前記近位側開口の遠位端より遠位側に位置する請求項 1 に記載の延長ガイドカテーテル。

10

20

30

40

50